

ハママツナの分布



調査日時：2022年2月22日（火）9:45～11:15，天気：曇り

ハママツナの生育場所を調査し、前回調査したヨシの分布と合わせて分布図を作成した。ヨシと同様ハママツナの分布は年々変化しており、今後の変遷が注目される。潟湖西側では、日和山から降りたエリアに点在し（Fig. 1），そこから北上すると、ヨシの群落と潟湖の間をハママツナが覆っている（Fig. 2）。潟湖北側の潟湖が枝分かれしたエリアでも広く分布しているのが見られた（Fig. 3）。そこから、南下していくと、潟湖の水際に沿ってハママツナが点在していた。潟湖東側にある潟湖が東に張り出したエリアでは、満潮時にはすっかり海水に覆われてしまう部分があるが、この日は水が引いていたためハママツナが散生しているのが確認できた（Fig. 5）。さらに南下していくと、広範囲にハママツナの群落ができている。他のエリアのハママツナは近くにヨシが生えているが、このエリアでは、ヨシがごく一部点在するのみで、ほとんどヨシの姿は見られなかった（Fig. 6）。

（宮崎佳彦）